

平成30年度

単位施策評価表

所属 10100000
総合政策部 総合政策課

施策	6501 国内・国際交流の推進						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	余地有	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民全般						
施策が目指す姿	友好都市等との連携強化に努めるとともに、多文化共生社会の実現を見据え、外国人住民との交流イベント等の開催、外国人住民に対する支援等を図る。						
成果指標	交流イベント参加者数... 5年間で1,500人（現状値980人）						
目標達成状況			平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標 1 [人]	予定	980.00	1,110.00	1,240.00	1,370.00	1,500.00
		実績	1,284.00				
	成果指標 2 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
		成果指標 3 []	予定				
		実績					
		単位コスト					
	成果指標 4 []	予定					
実績							
	単位コスト						
	トータルコスト (千円)	予定	32,280	33,175	29,288	0	0
実績		35,086	33,175	29,288	0	0	
内部評価	貢献度	上位施策目標指標「地域間や国内外の人との交流が増えていると感じる市民の割合」を高めるには、国内外の交流を推進する本単位施策の貢献度は高い。					
	達成状況	交流イベント参加者数の目標値980人を上回る1,284人の参加があり、参加者人数の目標を達成した。また、外国人住民対象に、日本語教室や防災教室を実施した。					
	課題	外国人住民が年々増加している状況があり、日本人住民との共生を図るため、情報発信の強化や交流事業の開催方法の工夫を図る必要がある。					
	取組方針	市国際交流協会との連携を強化し、生活マナーに関する講習会の開催、やさしい日本語でのパンフレット発行、FMラジオによる多言語放送等、有効な情報発信に努めたい。					
外部評価	成果指標である交流イベント参加者数は目標を達成しており評価できる。 本市では年々外国人住民が増加傾向にあることから、地域の祭りや文化活動などを通して、相互理解が深まると思われるので、今後も良好な状況が続くことを期待する。 市と市国際交流協会で連携を図りながら、外国人住民に対して積極的な情報提供を行うとともに、交流イベントや生活マナーに関する講習会の開催など啓発活動の充実を図られたい。						
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	160101	国内交流事業費				1,813	100
	163201	国際交流協会補助金				14,450	100
	163501	在住外国人支援事業交付金				2,745	100
	163801	中学生海外派遣事業費				10,248	100
	774401	東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致活動事業費				4,319	100
	163101	国際交流事業費				1,511	75
	163401	金華市小学生訪問団派遣事業費				0	0
	163701	友好・姉妹都市交流継続確認事業費				0	0
	999999	実験用					0

単位施策評価表 補表

施策	6501 国内・国際交流の推進		
区分	妥当性	妥当	国内外の人たちとの交流や外国人住民に対する支援等は、民間だけで行うのではなく、行政の関与が必要な施策である。
	コスト削減の余地	有	イベント開催の方法を、他のイベントとの共催にするなどの工夫によりコスト削減の余地があると思われる。
	受益者負担	適正	現行の事業執行においては、適正と思われる。
	上位貢献度	有効	上位施策「多様な地域間交流の充実」の達成には、国内外の交流を推進する本単位施策の貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	上位施策「多様な地域間交流の充実」を達成するうえで、本単位施策に類似する事業は見当たらない。
	成果向上の余地	有	実情にあった事務事業を実施することにより、成果が向上する余地は見込まれる。
内部評価	貢献度	上位施策の目標指標である「地域間や国内外の人との交流が増えていると感じる市民の割合」を高めるには、国内外の交流を推進する本単位施策の貢献度は高い。	
	達成状況	国際交流では、市国際交流協会と連携して、とちぎインターナショナルまつりや、外国人住民向けの語学講座、防災研修を開催した。交流イベントへの参加者数は、1,284人であり目標を達成した。 国内交流では、友好親善都市である北海道滝川市で開催した「たきかわ菜の花まつり」や滝川市市政施行60年記念式典、東京都中央区の「大江戸まつり」に参加した。	
	課題	外国人住民が年々増加している傾向にあり、外国人住民が理解しやすい情報発信や交流会等において生活マナー向上のための啓発活動を充実させる必要がある。	
	取組方針	栃木市国際交流協会との連携強化や、情報共有化を進め、外国人住民に対する積極的な情報発信を行い、交流イベント開催回数や参加者数の増加を図りたい。また、外国人住民と日本人住民の共生を目指すため、やさしい日本語や外国語訳による、日常生活に係る情報提供機会の増加を図りたい。	